

2013年度事業計画

【0】基本方針

1. 「一般財団法人日本エスペラント協会」としての2年目にあたり、活動の一層の充実を図る。このために、会員の意見を聴取し、活動・運営の確認・見直しを進める。会員、一般の方々にとって、より開かれた、より親しみやすく、より役に立つ、日本を代表するエスペラント団体を目指す。
2. 秋に東京で開催する、記念すべき節目の第100回日本エスペラント大会を成功させ、今後の国内のエスペラント発展の足がかりを得る。
3. 上記の第100回日本エスペラント大会等を通じ、エスペラントの広報を行い、エスペラントについての一一般の認識度を上げ、本会会員数の拡大につながるよう努める。

【1】エスペラント普及事業（担当：普及推進部）

【1. 1】基本方針

1. 国内外のエスペラント組織と連携し、エスペラントを知らせ、エスペランチストを増やす普及活動を行う。
2. 広域団体会員、地域団体会員、専門団体会員、また個人会員との連携を強化し、会員以外の団体、個々のエスペランチストを含めて協働の輪を広げ運動の発展を図る。
3. 第100回日本エスペラント大会を、全組織を挙げて成功させるとともに、この機会を外部への広報活動に活かす。

【1. 2】エスペラント普及推進事業の計画

1. エスペラント運動が現在どのような状況にあるかの把握に努める。
 - (1) 広域、地方、専門の各団体の本年の活動を早めにアンケートし、それを2014年4月号のLa Revuo Orienta誌に「エスペラント運動年鑑（2013年分）」として発表する。
 - (2) 日本エスペラント大会中に、できるだけ多くのエスペラント団体からの参加を得て「エスペラント懇談会」を開催し、情報の共有、経験交流、運動の方向の確認を図る。
 - (3) 第100回日本エスペラント大会に合わせて『エスペラント会文集』（仮題）を出版し、過去を振り返り、未来へ向けた歩みが踏み出せるようにしたい。
2. 各エスペラント団体との関係をより緊密にする。
 - (1) 地方エスペラント連盟の大会には本会理事が出席し、各地のエスペラント運動の状況について意見交換を行うようにつとめる。
 - (2) 年3回、4月、9月、12月に『普及推進部だより』を発行する。その際、様々な催しのチラシなども一緒に送付する。
 - (3) 団体会員に対し、JEIに対するアンケート調査を実施する。
3. 会員の拡大・定着に努める。
 - (1) 研究教育事業として行われるセミナーや講座などへ多くの会員が参加できるよう宣伝を強める。
 - (2) 新しい会員を獲得できるよう、各団体に「入門講習会」の開催を呼びかける。
 - (3) セミナーなどへの参加ができない会員の学力向上に、「沼津エスペラント会通信講座」「エスペラント大相撲」ほか、メーリングリストやメールマガジンを利用した様々な取り組みを紹介し、そこでの学習を勧める。
 - (4) 来日する外国人エスペランチストに地方会を訪問してもらい、会員にエスペラントを実際に使う体験をしてもらえるようにする。またその際、広報などに活用できるようにする。

- (5) エスペラント団体の存在しない県に対する取り組みを始める。
- (6) エスペラント団体に団体会員制度の利点や重要性を知ってもらい、未加入団体への参加要請を継続する。
- (7) 会費、会員制度についての検討を継続する。

4. その他の取り組み

- (1) エスペラントの新しい宣伝チラシなどを作る。
- (2) 「小坂賞」を運動に功績があったエスペランチストに授与し、内外にその功績を広める。
- (3) JR東日本釜石線のエスペラント駅名のリーフレット、エスペラントの気軽な宣伝に使える本にはさむ葉を作成する。
- (4) エスペラント展に使える展示資料の公開書庫を新たに作る。

【1. 3】エスペラント広報事業の計画

- 1. 本会のウェブページに、エスペラントに関することや行事・講習会等に関する情報を提供する。また、掲載したことを定期的に、メールで会員に周知する。
- 2. マスコミ向け広報紙『エスペラント通信』を年3回発行し、関係機関へ送信する。
- 3. 展示会（東京グローバルフェスタ）へ出展する。

【2】エスペラントを用いた国際交流事業（担当：国際部）

【2. 1】基本方針

- 1. 国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会（Universala Esperanto-Asocio = UEA）の日本における国別代表組織として推進する。また、UEAのアジア運動委員会（Komisiono pri Azia Esperanto-Movado = KAEM）と協働する。事業には、日本のUEA委員、UEA-delegito（都市代表）、KAEM委員やKAEM協力者が協働して当たる。
- 2. 日本のエスペランチストが行なう国際的なエスペラント活動を支援する。
- 3. 外国のエスペランチストに日本の各種催事への参加を促す。

【2. 2】国際交流事業の計画

- 1. 2013年に行なわれる国際的なエスペラント大会へ参加し、また協力を呼びかける。青年層には「青年エスペランチスト国際行動支援金」制度の活用を呼びかける。
 - (1) 第7回アジアエスペラント大会（イスラエル／エルサレム、4月18日～22日）に対して、参加グループ旅行を実施する。
 - (2) 第98回世界エスペラント大会（アイスランド／レイキャビック、7月20日～27日）に対して、UEA委員の派遣および参加旅行団を関連事業部と協力して実施する。
 - (3) 第69回国際青年エスペラント大会（イスラエル、8月19日～26日）
 - (4) 第100回日本エスペラント大会（東京、10月12日～15日）中の関連行事—アジア活動分科会、UEA-delegito分科会、Pasporta Servo（国際民宿網）分科会—を開催し、それぞれの活動の活発化を図る。同大会へ外国、特にアジアのエスペランチストたちの招請を実行委員会と協働して行う。
 - (5) 第32回東アジア青年エスペラント合宿（Komuna Seminario inter orient-aziaj junuloj／中国）
- 2. 日本のエスペランチストへの支援として、国際文通サービスを継続する。
- 3. UEA-delegito不在地域にdelegitoをおけるよう働きかける。

【3】エスペラント研究教育事業（担当：研究教育部）

【3. 1】基本方針

1. 教育部門においては、エスペラント学習者に語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成、エスペラント入門のための教材提供、学校におけるエスペラント授業への支援、エスペラント界外でのエスペラント教育に関する事業への支援等に取り組む。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組む。
3. ハケ岳エスペラント館を本会の研修施設として活用し、エスペラント運動の発展に寄与する。本施設を内外のエスペランチストおよび一般に開かれた施設として、年間200人以上の利用を目指す。また管理保全を行い、開館（1994年）から50年間は使用できることを目指す。

【3. 2】研究教育事業の計画

1. エスペラント集中学習の機会を設ける。
 - (1) 第46回エスペラントセミナーオ：5月3日～5日、福井県で開催する。
 - (2) 中級セミナー：ハケ岳エスペラント館で開催する。（時期未定）
 - (3) 講師養成講座：2014年2月か3月に開催する。（場所未定）
 - (4) 「エスペラントの日」記念JEI講座：6月15日、エスペラント会館で開催。（マルクシュ・ガーボル氏講演）
2. エスペラント学力検定試験、新テスト、およびKER試験（6月8日）を実施する。
3. 新教材『ドリル式エスペラント入門』を完成させ、日本大会で前半・後半そろった形で公開する。
4. 生涯学習の観点からも、全国のエスペランチストが在宅でエスペラントの学習に取り組める方策を検討し、提案していく。
5. 学校でのエスペラント授業を支援する。
6. 第100回日本エスペラント大会において、大会記念公開講演会、研究発表会、教養講座を実施する。

【3. 3】ハケ岳エスペラント館における事業の計画

1. 今年度は、4月13日（土）から11月14日（木）まで開館し、この間週末と夏季は宿直当番を置き、利用者の便を図る。また、本館の宣伝を強化する。
2. 次のように研修行事を主催する。
 - (1) 第15回エスペラント漬け合宿（8月下旬。略称NEK、エスペラントのみを使って行う合宿）
 - (2) 第2回エスペラント文化講座（秋）
 - (3) エスペラント関係展示（通年）

【4】エスペラント雑誌の刊行事業（担当：編集部）

【4. 1】基本方針

1. 雑誌『La Revuo Orienta／エスペラント』（RO誌）を下記の方針で発行し、エスペラントの普及発展に資する。
 - (1) エスペラントを学ぶ人にとって学習のよりどころとなる。
 - (2) エスペラントを使う人にとって実用の場を深め、広める。
 - (3) エスペラントを広める人にとって情報源となり、運動の活力となる。
 - (4) 特に若い会員、新規入会者にとって魅力的な誌面構成になるよう努める。

【4. 2】雑誌刊行事業の計画

1. 雑誌を下記のように刊行する。
 - (1) 基本的に、印刷版として、A5判40ページを原則とした雑誌を毎月発行する。ただし7・8月号は合併号とする。

- (2) 電子版については、個人会員に専用ウェブページで提供する。
 - (3) 視覚障害者向けには、印刷版を抜粋した音声版を発行する。また点字版の制作に協力する。
2. 編集体制は、毎月の編集部会を中心とし、年1回は拡大編集部会を開く。また、編集実務上の決まりごとを文書化していく。
 3. 各号については、ニュース記事・定例記事・特集記事などの比率、日本語文とエスペラント文との比率を考慮しつつ編集する。特集記事については、本会とエスペラント界の動向を反映しつつ、編集部会で計画する。

【5】エスペラント図書等の刊行及び頒布事業（担当：出版部）

【5. 1】基本方針

1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行う。
2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売する。また、内外のエスペラント雑誌購読を取り次ぐ。

【5. 2】図書刊行事業の計画

下記の計画の他、時期にかなった出版を計画する。

1. エスペラントの学習に関わる図書
 - (1) 阪直著『作文のためのエスペラント類義語集』の増補再版
 - (2) 藤巻謙一著『エスペラント中級学習書（仮称）』沼津エスペラント会中級通信講座のテキストにもとづいた自主教材の出版準備
 - (3) 『日本語エスペラント辞典』の電子化を含めた再版の具体化
2. エスペラント文化の発展に関わる図書
 - (1) 第100回日本エスペラント大会記念『日本文学作品集：Japana Literatura Juvelaro』の出版
 - (2) La Revuo Orienta誌に "Esperanto kaj mi" として掲載された各国のエスペランティストの寄稿文の冊子化の検討
3. エスペラント普及に資する図書
 - (1) 第100回日本エスペラント大会記念『エスペラント会文集（仮称）』の出版

【5. 3】図書頒布事業の計画

1. エスペラント書籍の販売、取次ぎを行う。出張販売に応じる。
2. 『日本エスペラント運動人名事典』（後藤齊編集）出版の援助：第100回日本エスペラント大会記念出版として出版社より一定部数を買取することで支援する。

【6】エスペラント大会主催事業（担当：大会組織部）

【6. 1】基本方針

1. 日本エスペラント大会は、エスペラントの実用・活用場であるとともに、エスペラント普及活動を進める場、エスペラントを社会に知らせる場である。また、エスペラントに習熟するための場、エスペラント文化を高める場でもある。このような意義を持つ日本エスペラント大会を継続して開催する。
2. 大会を継続して開催する体制の整備を進める。

【6. 2】日本エスペラント大会主催事業の計画

1. 日本エスペラント大会を円滑に実施するための体制および規程・細則を整える。
2. 第100回日本エスペラント大会（2013年）を東京都江戸川区タワーホール船堀を会場に10月

12日（土）～15日（火）に開催する。

3. 第101回日本エスぺラント大会（2014年）を福井県小浜市で10月11日（土）～13日（月・祝）に開催する準備を進める。
4. 第102回日本エスぺラント大会（2015年）の開催地の候補を検討し、2013年内に決定する。

【7】その他事業及び法人の管理

【7. 1】基本方針

1. 本会のエスぺラント事業の核となる会員の活動を支援し、会員層の拡大をはかる。
2. 各事業部門と連携をとり、事業が円滑に行なわれるよう支援する。
3. 新財団発足後の管理方法を確立させる。
4. 規程類の改定を進める。

【7. 2】総務部担当事項の計画

1. 総務部の職務（庶務、会員管理、エスぺラント会館管理活用、役員支援など）を事務局および関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会）の協力を得て着実に実行する。事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を定期的に関き対応する。
2. 各事業部門と連携し、第100回日本エスぺラント大会（東京）の準備を進める。
3. 図書館関連事業を、ボランティアの協力を得て推進する。
4. 図書販売促進のための対策を実行する。
5. 関連事業部と協力し、世界エスぺラント大会（第98回、アイスランド）へ向けて参加旅行団を企画する。アジアエスぺラント大会（第7回、イスラエル）へはグループ旅行を企画し、参加者の便宜をはかる。

【7. 3】財務部担当事項の計画

1. 公益目的支出計画および長期予算計画との整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支える。

【7. 4】ウェブ管理部担当事項の計画

1. 本会のウェブページにて、本会の一般財団法人としての情報を公開する。
2. 本会のウェブページにて、販売図書などの会員サービス情報を提供する。
3. 本会の事業をインターネット技術の側面から支援する。
4. エスぺラント版ウェブページを改訂・充実する。
5. エスぺラント界のウェブサイトとの連携を図る。
6. ウィキペディアのエスぺラント版の編集活動を啓蒙する。

(以上)